

令和3年度事業計画

1 方針

本協会は、和歌山市から指定管理者として指定を受け、夜間、休日等の医療が充実しにくい日時において安定的な1次救急医療を提供するため、和歌山市夜間・休日応急診療センター（以下「センター」といいます。）の管理業務を適切に実施することを方針としています。

2 診療業務

(1) 診療方針

センターは、急病患者に対して応急的な診療を行う診療所で、高度な医療や入院設備はなく、検査はレントゲン設備もなくインフルエンザ、コロナ検査以外できません。そのため、薬も原則として1日分の処方です。翌日又は休み明けには、かかりつけ医などの受診を勧めています。

また、新型コロナウイルス感染症の診療、検査、電話相談（受診に関する事項）は引き続き実施していきます。

(2) 診療場所

和歌山市夜間・休日応急診療センター

和歌山市吹上5丁目2番15号

開設者：和歌山市長 管理者：永井尚子

(3) 診療時間及び診療科目

ア 夜間診療（診療日数：通年〔365日〕）

(ア) 診療科目

内科・小児科・耳鼻咽喉科

(イ) 診療時間（平日）

内科・耳鼻咽喉科 午後8時～午前0時

小児科 午後8時～翌日午前6時

(ウ) 診療時間（土曜・日曜・祝日・年末年始12/29～1/3）

内科・小児科 午後7時～翌日午前6時

耳鼻咽喉科 午後7時～午前0時

※1 年末年始のみ耳鼻科も翌日午前6時まで診療します。

※2 盆は、上記通常の診療時間です。

イ 昼間診療（日曜、祝日、年末年始、盆は歯科のみ）

(ア) 診療科目

内科・小児科・耳鼻咽喉科・歯科

(イ) 医科診療時間（日曜・祝日・年末年始12/30～1/3）

内科・小児科 午前10時～正午・午後1時～午後5時

耳鼻咽喉科 午後1時～午後5時

(ウ) 歯科診療時間（日曜・祝日・盆8/13～8/15・年末年始12/29～1/4）

歯科 午前10時～正午・午後1時～午後3時

(4) 診療体制

ア 夜間診療

医師：3名（平日：内科1名・小児科1名・耳鼻咽喉科1名で計3名）  
4名（土日祝日：小児科が2診体制（準夜1名、終夜1名）となるため、2診体制の準夜勤務は、午後7時から午後11時までとなります。）  
薬剤師：2名（平日は準夜、終夜各1名、土日祝日は2名終夜勤務）  
看護師：4名（平日1名準夜勤務、土日祝日は5名で、内2名は準夜勤務）  
受付事務員：2名（平日、土日祝日は4名で内、2名は準夜勤務）

イ 昼間診療

医師：3名（内科1名・小児科1名・耳鼻咽喉科1名）  
薬剤師：2名  
看護師：4名（1名午後から）  
受付事務員：4名（1名午後から）  
歯科医師1名、歯科衛生士1名、歯科受付事務員1名

ウ ゴールデンウィーク（5/3～5/6、以下「GW」といいます。）

昼間診療、夜間診療とも増員せず1診体制とします。診療時間等は日曜、祝日と同じです。

エ 盆（8/13～8/15）

医科については15日日曜日を除き、昼間診療や増員は行わず、通常通り夜間診療のみ実施します。歯科は通常の時間で診療を実施します。

オ 年末年始診療（医科：12/30～1/3、歯科：12/29～1/4）

年末年始の昼間（午前10時から午後5時まで）及び準夜（午後7時から午後11時まで）は、内科、小児科で患者過多及び発熱外来を設けるため、2診（医師2人）体制を取ります。

（ア）夜間診療

医師：5名（内科、小児科各2名（準夜1名、終夜1名）、耳鼻咽喉科1名）  
薬剤師：4名（準夜2名含む）  
看護師：8名（準夜2名含む）  
受付事務員：6名（準夜2名含む）

（イ）昼間診療

医師：5名（内科、小児科各2名、耳鼻咽喉科1名）  
薬剤師：4名  
看護師：8名（午後から2名含む）  
受付事務員：6名  
歯科医師：1～3名（29日2名、30、31日3名、1～3日2名、4日1名）  
歯科衛生士：1～3名（医師と同数）  
歯科：歯科受付事務員1～2名（医師が2、3名のとき2名勤務）

カ 繁忙期体制

例年はインフルエンザの流行に対処するため、年末年始に続く日曜、祝日の昼間診療を内科、小児科で2診とする繁忙期体制を約1か月間実施していましたが、昨年度はコ

ロナの影響で極端に受診者が減少したことから、年末年始の受診状況を勘案しながら実施、未実施を、12月末を目途に決定したいと考えています。

- (5) 患者数見込（昨年度の患者数減少を考慮し、過去5年間の平均受診者数のおおよそ75%として推計しています。（ ）内は昨年度の患者数見込み値です。）

ア 夜間診療	内科	4, 160人 ( 3, 300人)
	小児科	9, 210人 ( 4, 500人)
	耳鼻咽喉科	2, 460人 ( 1, 500人)
イ 昼間診療	内科	1, 950人 ( 1, 600人)
	小児科	3, 160人 ( 1, 500人)
	耳鼻咽喉科	1, 060人 ( 630人)
	歯科	400人 ( 400人)
	合計	22, 400人 (13, 430人)

### 3 施設等の維持・管理業務

施設等の経年劣化による原則的に小規模な修理、修繕を行う。

施設等の概要

構造 鉄筋コンクリート造1階建地下1階（和歌山市保健所〔鉄筋コンクリート造3階建地下1階〕に併設）

延床面積 1, 338㎡（保健所延床面積6, 580㎡）

施設内容 事務室、診察室、処置室、薬局、待合室、観察室、発熱外来等

### 4 令和3年度収支予測（別添「令和3年度収支予算書」参照）

令和3年度の予算は、令和2年度の診療報酬の大幅な減収を受けて緊縮予算となっています。収入は、保険診療で加算可能なもの（トリアージ実施料、PCR検査の民間委託、自主PCR検査など）を計上する、また、コロナワクチンの普及などで受診控えが少なくなり、受診者が過去5年間平均の75%程度回復すると見込むとともに、国、県の適応できる補助金は漏れなく請求することで増収を図り、247, 673, 000円を計上しています。

一方、経費は相当な削減を図り、令和2年度比較12, 424, 000円減の334, 545, 000円としています。

収支差額86, 872, 000円が和歌山市からの交付金となる予定です。

### 5 令和3年度の取り組み

令和2年度の受診者数は、前年度の45%減の見込みで、9月補正で交付金の再交付を受けてなんとか年度末を迎えることができました。令和3年度は、コロナワクチンの普及で受診者がある程度回復するのか、令和2年度同様受診控え、感染防御の徹底による受診者減少が続くのかは不透明です。そのため、考えられる診療報酬増加策、患者数が回復しない場合は、小児科準夜の1診制などによる経費削減などに取り組みなければなりません。しかしながら現診療体制を維持するのであれば、限界があり、令和3年度に策定しなければならない5年間の指定管理者の指定に係る債務負担行為の限度額を受診者の回復状況をみながら考慮していく必要があります。

## 7 債権回収計画

令和3（2021）年度の債権回収計画は、受診月の翌月20日までに入金のない人に対し、督促状を送付。以降、四半期ごとに督促所の送付を継続する。

## 8 令和3（2021）年度和歌山市夜間・休日応急診療センター人員体制

（1）安定した診療を確保するため、次の職員を雇用していく。

### ア 医師（非常勤）

（ア）市医師会（内科、小児科、耳鼻科昼間診療の主に開業医延べ約240人手配）

（イ）協会（小児科夜間診療延べ約370名、内科夜間診療延べ約370名手配）

（ウ）医大耳鼻科（夜間勤務医手配延べ約370名）

### イ 看護師

職員9名、非常勤職員1名、日々雇用職員約27名

### ウ 事務員

職員3人、非常勤職員10名、日々雇用職員約14名

### エ 歯科

歯科医師、歯科衛生士、歯科受付事務は和歌山市歯科医師会に委託。

### オ 薬剤師

和歌山市薬剤師会に委託